

被災地から被災地を見つめ、考え、問う。

『震災学』を語る

8月24日(土) 14:00より

八文字屋本店

トークイベント〈入場無料〉

2階特設会場(元パーラー)

佐々木俊三

東北学院大学副学長
同大学ボランティアステーション所長

郭基煥

東北学院大学経済学部教授

宮本直規

東北学院大学教養学部講師

言うまでもなく、「震災学」という学問が存在するわけではない。あるのは、私たちの前に突きつけられている「問い」だけである。「現場」とは何か、「現実」とは何か、この問いだけが私たちに突きつけられている。……………震災学編集委員会「創刊に寄せて」より



東日本大震災の発災直後、学内に災害ボランティアステーションを開設した東北学院大学。全国の大学と連携し、被災地支援拠点として活動してきました。被災地の大学が被災地からの視点で、そして大学や学問領域を超えて、震災を多角的に考え発信する場として創刊したのが雑誌『震災学』です。『震災学』とは何なのか、いま何を発信すべきなのか。雑誌『震災学』を企画し、執筆してきた3人が語ります。

お問合せ・お申込み: 有限会社荒蝦夷(あらえみし) TEL/FAX.022-298-8455

八文字屋本店 TEL.023-622-2150